

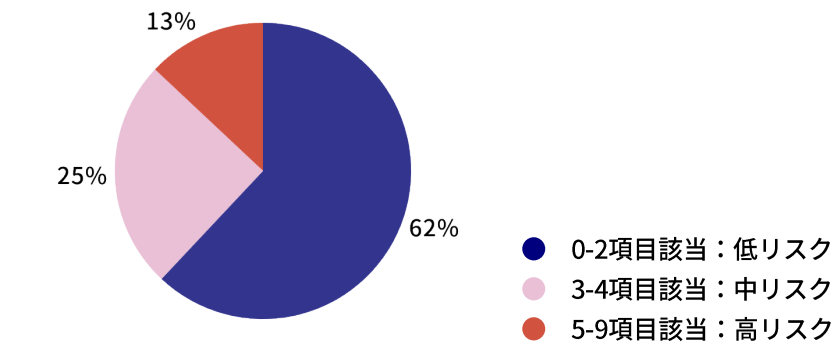
プレゼンティーイズムと健康リスクの関連

「生活習慣リスク」「心理的リスク」に関する9つの項目で、従業員の健康リスクを把握しました。
 該当する健康リスクの数（図表1）に応じて、従業員を3グループに分類し（図表2）、各グループの労働生産性の低下率を算出しました。（図表3）
 企業の生産性の向上のためには、高リスク者を減らすことが重要であると分かります。

（図表1）

	健康リスクの評価項目	従業員の リスク該当率の割合
生活習慣 リスク	①喫煙習慣あり	31%
	②過度な飲酒習慣あり	18%
	③運動習慣なし	76%
	④睡眠が不十分	36%
心理的 リスク	⑤不定愁訴あり	22%
	⑥主観的健康感が悪い	11%
	⑦高ストレス	29%
	⑧仕事満足度が低い	16%
	⑨家庭満足度が低い	7%

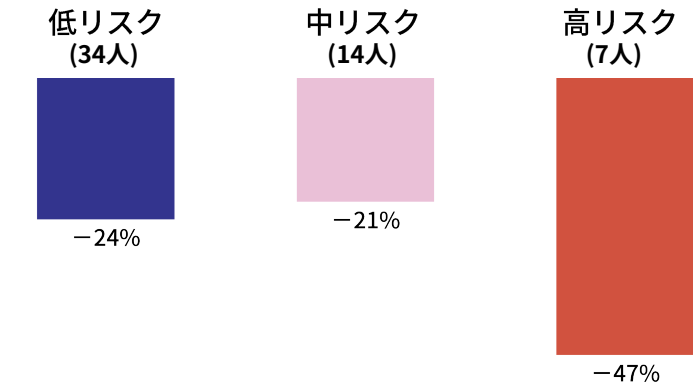
（図表2）



※低リスクの従業員が50%以上であることが望ましいとされます。

各リスクレベルのプレゼンティーイズムの
 平均値を比較します。

（図表3） 労働生産性の低下率
 プレゼンティーイズムの平均値（%）



*上記は、東京大学
 古井・村松・井出「中小企業における労働生産性の損失とその影響要因」日本労働研究雑誌
 平成30年6月号と同じ手法により算出しています。